

地域のつながり

四日市居場所ネットワーク通信



第19号

発行月:2026年3月 発行者:NPO 法人市民社会研究所 (委託者 四日市市)

四日市の「居場所」のご紹介

憩いの場 (四日市市身体障害者団体連合会)

障害がある人もない人もみんなでワイワイしながら楽しみませんか

四日市市身体障害者団体連合会 (以下、四身連) は、四日市肢体障害者福祉会・四日市市視覚障害者協会・四日市車いすの会・四日市内部障害者福祉会・よっかいち失語症友の会・四日市市ろうあ福祉会の会員が集まった団体です。四身連では、仲間が集まって自分に合った遊びや作品作り、趣味等をみんなでワイワイしながら楽しむ「憩いの場」を開催。憩いの場では主に作品づくりを行っており、これまでに消しゴムはんこや粘土細工、クリスマスリース等を作っています。



今回は三角パーツの折り紙手芸に取り組んでいました。三角パーツの折り紙手芸とは、三角に折った折り紙を何枚も重ねて立体物をつくる折り紙手芸です。カエルを作ったり、某人気キャラクターに挑戦したりと夢中になりつつ、皆さんと楽しそうに作品作りを行っていました。参加者は「ここに来て、みんなとおしゃべりすることが楽しい。」「何もせず見てるだけでもウエルカム。」とおっしゃっていました。また、障害がない人も参加できます。

高齢化や障害の重度化等によって参加者が減少しているそうです。皆さんも一度参加してみませんか。興味のある方お待ちしております。



片手だけでも作品を作ることができます



三角パーツをたくさん作ります

憩いの場(四日市市身体障害者団体連合会)

【日時】毎月第2・第4土曜日 13:30~15:30

【場所】四日市市総合会館2階 障害者団体事務室

【連絡先】TEL:059-354-8306

行ってきました 令和7年度 こころの健康・福祉のフェスティバル

2月28日(土)あさけプラザで開催された、「令和7年度こころの健康・福祉フェスティバル 知って、話して、ふれあって、こころあったまる1日を」(主催：四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会/こころのバリアフリー推進部会)に行ってきました。わかば共同作業所による演劇や、当事者の体験発表、通所事業所による物販、講演等が行われ、当事者の方々とのふれあいを通じて、精神障害への理解を深められるイベントでした。

通所事業所による物販では利用者さんが接客をしていたり、当事者の体験発表では、たくさんの拍手が起こり、イベントテーマのとおり、こころあったまる内容でした。

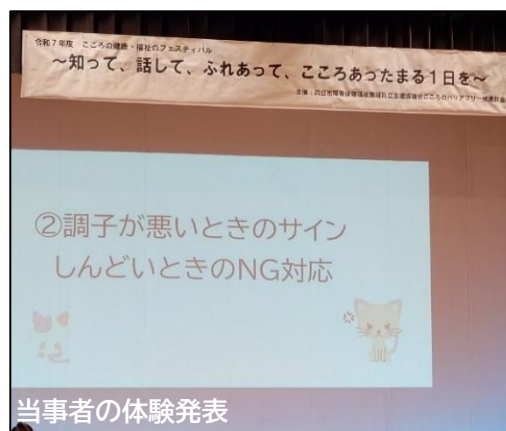
精神障害がある人は、地域の中で孤立しがちになります。地域で自分らしく生活していくためには、地域の理解と協力が大切です。



こころのマルシェ



健康チェック



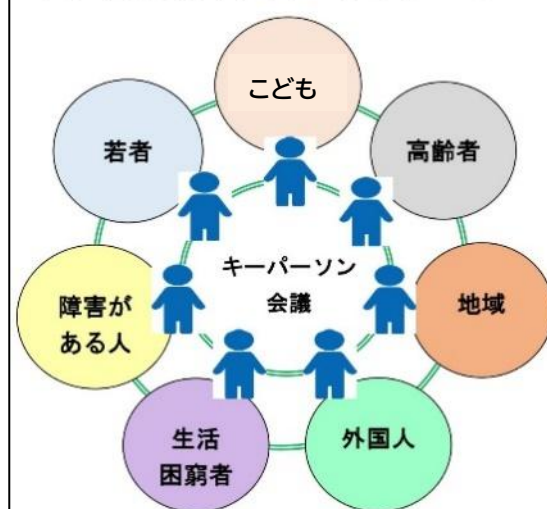
当事者の体験発表

四日市居場所ネットワークとは

四日市市内には、こども食堂や高齢者サロン、学童保育所、認知症カフェなど、さまざまな福祉的居場所があります。こども、若者、高齢者、障害者、外国人、生活困窮者等のさまざまな分野の居場所がつながり、総合的な居場所ネットワークをつくっていきます。

居場所ネットワークができると、いろんな分野の居場所どうしの交流や、居場所を運営する人どうしが、すぐに困りごとを相談したり、情報共有できたりと、様々なメリットがあります。興味を持たれた方は問合せ先までご連絡ください。みんなで一緒につくりましょう！

四日市居場所ネットワークのイメージ



【問合せ先】※四日市居場所ネットワークに参加したい団体、事業所は、お気軽にご連絡ください

発行者：NPO 法人市民社会研究所（委託者：四日市市健康福祉部福祉総務課）

住 所：〒510-0086 四日市市諏訪栄町 3-4

電 話：059-355-5115 メール：ssk21ww@yahoo.co.jp ※電話は「伊勢おやき本舗」で出ます